

プレスリリース [2023年3月20日]

(計2枚)

ゼロカーボンシティの実現に向け、新たに2つの取り組みを実施します

市では、2022年1月24日に「町田市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、脱炭素社会の実現に向け、町田市バイオエネルギーセンターでの廃棄物バイオマス発電をはじめとした温室効果ガス削減の取り組みを行っております。

2023年4月から、新たな取り組みとして以下の2つを開始いたします。

1 使い捨てコンタクトレンズ空ケースの拠点回収の開始

市は3月20日にHOYA株式会社 アイケアカンパニーと使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収に関する協定を締結しました。プラスチックごみの分別を促進し、資源化を推進するため、本協定に基づき、4月1日(※)から市内公共施設で使い捨てコンタクトレンズ空ケースの拠点回収を開始します。拠点回収場所は、順次拡大する予定です。

※市庁舎1階南口は4月3日から回収します。

■拠点回収場所

市庁舎1階南口エレベーターホール、町田市バイオエネルギーセンター2階出入口付近、リサイクル広場まちだ、市立総合体育館更衣室、市立室内プール入口、町田 GION スタジアム内1階、サン町田旭体育館受付、成瀬クリーンセンターテニスコートクラブハウス、小野路公園管理棟、鶴間公園クラブハウス



(回収ボトル)



(回収ボックス)

■使い捨てコンタクトレンズ空ケースの拠点回収開始による効果

空ケースを資源化することにより、資源を有効活用できるだけでなく、プラスチックごみを焼却する際に発生するCO₂を削減できます。(推計値：年間約0.28t-CO₂削減、杉の木約20本分、テニスコート約1面分の面積に相当)

2 指定収集袋へのバイオマスプラスチックの導入

市役所や市民センター等で無料交付しているボランティア袋（22万5千枚）に使用されるプラスチックの25%に、植物等の有機物由来の原料を使用したバイオマスプラスチックを導入いたします。

■バイオマスプラスチック導入による効果

バイオマスプラスチック未導入の場合、焼却の際に年間約11.74t-CO₂のCO₂が排出されますが、原料全体の25%にバイオマスプラスチックを配合することによりCO₂排出を実質約2.94t-CO₂（杉の木約210本分、テニスコート約10面分の面積に相当）削減できます。

■交付時期

従来のボランティア袋の在庫状況により、7月頃からの交付となる見込みです。

■本件に関するお問い合わせ先

環境資源部環境政策課 課長 塩澤 TEL 042-785-5479